

協会の活動

発行: 一般社団法人栃木県老人保健施設協会広報委員会

令和元年度 第2回職員研修会（研修委員会主催）

- 期日：令和2年2月21日（金）
- 会場：とちぎ福祉プラザ（宇都宮市）

令和2年2月21日とちぎ福祉プラザ福祉研修室にて研修委員会による第2回職員研修会が開催され、31施設76名の参加がありました。冒頭、研修委員長より新型コロナウイルス等感染症が流行している中での出席への感謝が述べられ、また、今般の開催趣旨の説明がなされました。

講師に特定非営利活動法人介護の会まつなみ副理事長の峯尾武巳氏をお招きし、「がんばりすぎない 無理をしない 認知症ケア」をメインテーマにご講義いただきました。

午前の第1部では、「介護という仕事を考える」をテーマにキーワード（感情労働・共感疲労・モチベーション・介護の言語化）に沿って講義され、また、タイマーと卓上ベルを使って時間管理し、最初は個人で考え、次に2人で話し合い、最後にグループでまとめ



発表する「話すディスカッション」で進行していきました。時折テレビドラマ『相棒』の杉下右京の口癖やセリフを交えた楽しい講義となりました。

午後の第2部では、「認知症の理解とケアの工夫」をテーマにキーワード（認知機能・生活障害・ICF・生活情報・事例検討・リフレクション）に沿って講義され、午前の「話すディスカッション」にプラスして書くということを追加した演習を行いました。

活気ある雰囲気の中、各グループとも真剣に演習をしていました。講師からは、「最近の研修ではこのような演習も多くなったが、是非、現場でも事例検討やケアカンファレンス、ケア会議などで活かして定期的に続けてほしい。」とのお言葉をいただき、今後にかける実りある研修会となりました。

